

総合人文科学研究センター

「知の蓄積と活用にむけた方法論的研究」部門

第 11 回研究会のご案内

日時：2017 年 11 月 18 日(土) 10:00～16:00 (12:05-13:00 昼休み)

場所：早稲田大学 戸山キャンパス 33 号館 6 階 第 11 会議室

第一部：

1. Bernard Thomann 氏 (INALCO、東京外語大学客員教授) (英語)

Labor rationalization in Japan coal mining industry from the early 50s to the 70s

2. Chelsea Szendi Schieder 氏 (明治大学) (英語)

Daughters of the Mountain: Women in Coal Communities

3. 宮本隆史氏 (東京大学) (英語)

Evolution of Prison Archive in Miike: A Case Study of Kikuchi Tsuneki's Letter

4. 坂田勝彦氏 (東日本国際大学)

産炭地域の＜戦後＞史 — 杵島炭鉱の元労働者の経験から —

第二部：

5. 菊池美幸氏 (九州大・博士後期課程) 近代日本における炭鉱病院の機能と役割

7. 笠原良太氏 (早稲田大・博士後期課程) 歴史的出来事との遭遇と青年たちの危機的移行 — 炭鉱の事故・閉山によるライフコースの攪乱と軌道修正 —

8. 清水拓氏 (早稲田大・博士後期課程) 太平洋炭鉱労働組合の機械化への態度 — ミニ新聞『5分間ニュース』の分析から

9. 崔允瑞氏 (北京大・博士後期課程) 戦後日本の炭鉱都市女性組織と女性活動家の経験：北海道炭鉱主婦会・炭鉱主婦協議会の事例を中心に

※現在日本で活躍中の研究者の方々から、アーカイビングデータを活用した日本石炭産業に関する研究を報告していただきます。

貴重な機会ですので、ふるってご参加ください。